

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価						
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業所の大多数を占め、市内商工業の基盤をなす小規模事業者の持続的発展に努める。また、創業・経営革新への積極的な支援・促進を実施する。このため、窓口での相談指導をはじめ、多様な小規模事業者の対応を高めるべく積極的に巡回相談指導を行い、7年で地域小規模事業者を一巡するとともに、事業所の課題を把握し、解決提案をする事業計画の作成並びに補助金等申請・手続きの伴走型支援を行う。	巡回・窓口指導（非会員） 実企業数 1,007(68) 延べ指導件数 2,640(114) 課題解決提案件数55 経営革新承認数 3件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 176.0%)			指標 課題解決提案件数 (達成度 110.0%)			小規模事業者の体質改善支援及び各種施策普及を行う事ができた。また、課題解決提案を55事業所にに対し、経営力向上の支援をした。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標	より多くの事業所の課題を把握し、解決提案する事業計画づくりの伴走型支援に注力していく。
				目標数値	実績数値	2,640	目標数値	50	実績数値	55	調査結果 事業者への			A	A		①上げる②現状維持	
記帳継続指導	市内個人小規模事業者の自主記帳能力を養成し、小規模事業者の経営改善に資することを旨とし、記帳から決算申告に至る一貫した記帳継続指導を行う。また、電子申告の対応もしていく。	・指導事業所数 68事業所 ・指導延日数 537日 ・指導延回数 783回	小規模事業者	指標 指導事業所数 (達成度 101.5%)			指標 指導延回数 (達成度 93.8%)			経理事務の省力化の他、売上状況や経費等の速やかな把握により、経営改善策定や経営の方向性・営業方針の決定等に有効であった。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標	目標①については実績を鑑み、目標を上げる。目標②については実績を鑑み、目標を下げる。
				目標数値	67	実績数値	68	目標数値	835	実績数値	783			調査結果 事業者への	A	A		
講習会等	市内事業所の大半を占める小規模事業者が抱える経営上の問題点を解決するために、経営知識の普及の方法として集団講習会を開催し経営の安定を図る。個別講習会は専門家相談を通じて、事業所の課題解決や事業計画策定・実行支援への助言・指導を行う。また、あいち産業振興機構や金融機関等との連携により、事業承継を中心に相談者発掘等を行う。	集団指導 9回 受講者116名（全体166名） 個別指導 69回 受講者数82名（全体101名）	小規模事業者	指標 集団指導年間受講者数 (達成度 96.7%)			指標 個別指導年間受講者数 (達成度 160.8%)			集団指導は、地域中小・小規模事業者のニーズに応え、受講者には今後の経営安定の一助に繋がった。個別指導は、地域小規模事業者が抱える問題点を、専門家を交えた解決策を見出すことで、地域振興と事業経営者の経営安定に資することができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標	目標①の目標を達成できるように、小規模事業者の参加者数を増やす対策を講じていく。
				目標数値	120	実績数値	116	目標数値	51	実績数値	82			調査結果 事業者への	A	A		
創業支援	事業者は当地域経済の活力と雇用の維持の源泉を担っている。当地域の事業者数を増やすことで、地域の振興に資する。創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者の知識習得、創業計画策定を支援することで、スムーズな開業へと繋いでいく。	創業支援者数57名 管内創業者数8名 起業家支援セミナー受講者数20名 ハンズオン支援者数0名 起業家支援セミナー「創業計画策定」卒業生起業家の集い参加者数14名	創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者	指標 創業相談延べ件数 (達成度 57.0%)			指標 起業家支援セミナー受講者数 (達成度 66.7%)			支援機関が創業に適う環境づくりを重視することで、事業者数の自然減を抑え、ともに地域の活力づくりに繋げている。創業計画作成を機とした継続的な伴走支援を実施することにより、創業後の安定的な経営力及び変化に対応できる経営力の向上に繋がっている。		総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標	創業相談対応に関しては、待ちの姿勢であることから、更なる広報強化が必要。起業家支援セミナーの参加者に関しては、人数こそ少ないが、満足度は高かった。
				目標数値	100	実績数値	57	目標数値	30	実績数値	20			調査結果 事業者への	B	A		
青年部・女性部事業	青年部は次代を担う青年経済人として、若手経営者・後継者・幹部職員等が、人格教養を高め、経営能力の向上と企業の発展を図るため、自己研鑽に資する研修事業と共に、商工会議所活動への参加、協力を通じて地域経済、地域社会の繁栄に貢献する。また、異業種交流の場としての活用で、会員相互の連携と人脈作りへと繋いでいく。また、女性会は、会員の資質向上を図るとともに、女性の視点から職業を通し街の活性化に積極的に取り組む。	◆青年部：研修会3回開催、延233名。参加率：40.6% ◆女性会：はんだ蔵のまち夏まつり13名、ひな祭り事業17名。参加率45.4% 青年部・女性会平均事業参加率43%	小規模事業者等に於ける若手経営者（後継者等）並びに女性経営者	指標 青年部・女性会研修会事業参加率 (達成度 86.0%)			指標 (達成度 %)			青年部は、7月富士登山研修が台風で中止となるも、議事を練り直し9月に実施。事前準備の重要性、自分と向き合いながらも相手も思い、挑戦することで、自己の成長・かけがえのない仲間との絆を体験した。また、女性会は、蔵のまち夏まつりとひな祭り事業を通じて地域貢献活動ができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標	次年度の青年部は、より多くの研修会を予定している。より会員の参加率を高めるとともに、資質向上に努める。
				目標数値	50	実績数値	43	目標数値		実績数値				調査結果 事業者への	B	A		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等				
若手後継者育成事業（経営意識啓発セミナー）	中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、消費者ニーズの多様化、価格競争の激化、情報化、国際化の進展等大きく変化している。青年経済人として、実践的な研修を通して啓発し合い、自己研鑽を続けることで、自己の成長、永続的な自社の発展、更には地域の発展の一助とするため、経営意識啓発セミナーを実施し、先を見据えた経営意識を身に付けられるようにする。	講師に、箕輪厚介（幻冬舎）を招き、1月23日（水）に、アイプラザ半田にて開催。目まぐるしく変わる時代を生き抜く青年経済人として「武器」となる情報を今まで以上に率先して得ていくため、今一度自分を見つめ直し、即座に決断し行動へと移すことの重要性を学んだ。講演後は、会長とのクロストークを実施。	会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員	指標	事業参加者数 (達成度 95.8%)			指標	アンケート調査結果回収率 (達成度 135.7%)			公開型研修会として実施した為、当所青年部会員のみにならず、当所会員、愛知県商工会議所青年部連合会所属会員等にも広く周知し、多くの青年経済人の気質を高められた。また、「情報」を得ることの重要性を再確認でき、今後の経営姿勢を見直す契機になった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標	調査結果 事業者への	目標①については、青年部会員から導き出し、自己研鑽となるべく研修への参加を促すと共に、参加者からは満足感の高い研修を得られるよう努める。
				目標数値	95	実績数値	91	目標数値	70	実績数値	95				目標達成度	A	必要性	両方現状維持		
				目標数値				目標数値							A	A	廃止			
若手後継者育成事業（先進地視察）	事業所を取り巻く経営環境は、消費者ニーズの多様化、価格競争の激化、情報化、国際化の進展等大きく変化している。その中で、企業内での女性役員の積極的登用など、女性が活躍する場面が多量に見受けられる。当所女性会は会員の更なる活躍、次代を担う若手女性会員の積極的登用、女性会の会員で良かったと思ってもらえるような魅力ある女性会に向け、全国商工会議所女性会の先駆けとなった東京へ赴き、全女連会長より今までの女性会の役割はもとより、これからの未来を支える女性会の役割をどう考えているのかをご教授いただく機会とする。	9月3日（月）東京商工会議所にて、「魅力ある女性会に向け先駆者に聞く」をテーマに、全国商工会議所女性会連合会 藤沢薫会長の講演を実施。さらに、女性起業家大賞受賞先の榊FUNFAN 藤岡康代氏から創業から現在に至る苦労や仕事の喜びの話を伺い、商品が販売されている百貨店を見学した。	小規模事業者等における女性経営者	指標	事業参加者数 (達成度 100.0%)			指標	アンケート調査結果回収率 (達成度 100.0%)			当女性会として組織の強化、或いは、新たな事業展開を検討していかなくてはいけない転換点を迎える中で、この先進地視察は、藤岡氏からは女性経営者としての底知れないパワーから企業経営に対する刺激をもたらした事、また、全女連藤沢会長からは歴史・伝統の大切さと忘れてはいけないきめ細やかな女性としての所作を改めて認識する機会となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標	調査結果 事業者への	次年度は、「健康・美」に着目したセミナーを開催する。30年度11名の入会があり、受講者は女性会の会員を対象とする。
				目標数値	15	実績数値	15	目標数値	100	実績数値	100				目標達成度	A	必要性	両方現状維持		
				目標数値				目標数値							A	A	廃止			
商店街・街づくり事業（推進室含む）	市内商店街の衰退が進み、中心市街地の活気が無くなってきている。そこで関係団体である商工会議所、中心市街地3商店街、市商連、榊はんだ賑わいビル開発、榊トロッポ・アバンセの4団体が中心となり商店街の活性化、まちづくりと中心市街地の活性化を推進する。また、地域住民・商業者・市・会議所が一体となって、地域コミュニティ、賑わい創出、商機強化の各種事業の実施により、交流機能、買い物機能、情報機能等の商業機能を強化し、中心市街地をはじめとする地域の賑わい創出、まちづくりを支援する。	・半田市商業施設助成事業活用事業者6事業所 ・知って得するゼミナール38講座、来店客数323名 ・市商連事業「第3回はんた商業まつり」を開催。参加事業所数46事業所 ・中心市街地商業活性化にぎわい事業「はんたまちなかフェスティバル」参加事業所数53事業所 ・商業振興を図るべく、まちなかプレミアムクーポンを実施。参加事業所数44事業所 ・まちづくり推進室 賑わいイベント「半田運河CanalNight」開催2日間延べ15,000人来店 ・まちづくり推進室 賑わいイベント「はんた駅前フェスティバル」開催1,000人来店 ・地域交流拠点まちづくりステーションカガシヤを週2回自由開放、貸室等を行い地域住民の憩いの場として活用した。	中小・小規模事業者	指標	半田市商業施設助成事業利用数 (達成度 60.0%)			指標	知って得するゼミナール参加店への来店客数 (達成度 107.7%)			知って得するゼミナールは、市報に折込することで高い周知効果を得られており、改めて顧客の立場に立った自社製品の説明の勉強に繋がった。半田市商業施設助成事業では、店舗の新設並びに改装に役立てることができた。商業活性化の事業についても個店の来店客・売上増加に寄ることができた。まちづくりについては、地域交流拠点での継続的な活動をしてきた他、半田運河や名鉄知多半田駅前にて賑わいイベントを実施し、中心市街地の魅力を創出できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標	調査結果 事業者への	より多くの参加店を募集し、参加者満足度向上を目指す。半田市商業施設助成事業および知って得するゼミナールとも周知徹底し、目標数値は再度同じ設定とする。
				目標数値	10	実績数値	6	目標数値	300	実績数値	323				目標達成度	B	必要性	現状維持		
				目標数値				目標数値							B	A	現行どおり			
観光振興・醸すブランド化事業	当地の近代の繁栄を築いてきた産業のひとつである「醸造業」、および生活に根付く「醸造文化」に着目した地域活性化の取り組み「醸-KAMOSU-事業」を生かし、賑わいの創出、販売拡大に繋げることで小規模事業者の振興と経営の安定に寄与。交流人口の増加策を企画し、継続的な事業を実施する。また、地域資源である「半田運河」への年間を通じた誘客を仕掛ける半田市の地域振興事業予算が定されており、本年秋の愛知ディスプレイーションイベントとも踏まえ、半田市観光協会等の支援機関と協働し、商品開発支援、販促支援を行い、継続的な仕組みを構築するとともに小規模事業者の「稼ぐ力」づくりを行い、小規模事業者の振興に繋げる。	・商品開発・販売促進セミナー・個別相談会実施（食のビジネスフェア あいち知多半島メッセ2019内）…参加事業者数延べ15事業者 ・はんた醸すごはん事業…参加事業者数延べ57事業者 ・知多半島観光圏協議会への参画	中小・小規模事業者	指標	商品開発・販売促進セミナー受講者数 (達成度 75.0%)			指標	事業参加事業者 (達成度 126.7%)			「食のビジネスフェア あいち知多半島メッセ2019」では、付帯企画として商品開発、販路拡大をテーマとしたビジネスセミナーを開催。また出展者を対象とした相談会を開催し、事業計画策定を支援するとともに気付きと方向性を見い出した。地域資源の「醸造」を活かした食関連事業は、市民をはじめ、当地を訪れる観光客への発信となり、事業者の意識づくりを図った。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標	調査結果 事業者への	目標①は引き続きセミナー及び相談会受講者とする。目標②は引き続き事業者の意識づくり、意識向上を図る取り組みを実施し、参加事業者数の更なる向上に努める。
				目標数値	20	実績数値	15	目標数値	45	実績数値	57				目標達成度	B	必要性	現状維持		
				目標数値				目標数値							A	A	現行どおり			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価						
商談会・ビジネス マッチング事業	展示会や商談会を開催し、市内事業者が参加することにより、事業者の新たな取引先を開拓し、事業の拡大に繋げることを目的とする。事業者の取り組みや新商品等を広く紹介し、ビジネスマッチングの機会を創出する。また、金融機関等との連携を強化し、食のビジネスフェアあいち知多半島メッセに取り組む。	◆7577パートナー発掘市2018(6/18～6/22)：参加事業所5、商談確定件数15 三河、知多地域商談会参加企業数 参加企業2 受注企業2 ビジネスフェア「あいち知多半島メッセ」 出展企業41社（小規模事業者28社）	中小・小規模事業者	指標 アラバール事業商談確定件数 (達成度 100.0%)			指標 ビジネスフェア出展事業所数 (達成度 102.5%)			商談会に市内事業者が参加することにより、市外の新たな取引先を開拓することができ、事業の拡大に繋げることができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 両方現状維持	広報強化を行い、参加企業数、商談確定件数ともに維持し、多くの小規模事業者の経営に資することを旨とする。
				目標達成度	必要性	目標数値	実績数値	実績数値	実績数値					目標数値	実績数値	目標数値		
部会・委員会事業	最近の企業ニーズに合った事業企画を実施し、事業所のレベルアップを図る。 部会・委員会の会議並びに研修会等を通じて事業所間での異業種交流も図られ、経営改善事業との相乗効果が見込まれ、企業発展に寄与する。	部会：会議27回、事業23回 委員会：会議17回、事業14回	中小・小規模事業者	指標 会議・事業実施回数 (達成度 135.0%)			指標 (達成度 %)			部会・委員会活動を通じて、地域や中小・小規模事業者の支援になる事業が実施できた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 現状維持	今後も、部会・委員会事業を通じて、小規模事業者の支援に繋げていく。
				目標達成度	必要性	目標数値	実績数値	実績数値	目標数値					実績数値	目標数値	実績数値		
検定等支援事業	各種検定試験を実施し、地域の人材育成を支援するほか、地域社会に貢献する。	検定試験の開催 (①珠算・簿記・PC、②カラーコーディネーター・ビジネス実務法務・福祉住環境コーディネーター・環境検定) 検定受験者数：①日商検定1,373人、②東商検定238人	中小企業従業員や一般市民	指標 検定受験者数(人) (達成度 100.7%)			指標 (達成度 %)			日商・東商検定を通じて、地域の人材育成に繋がった。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 現状維持	本年同様に広報強化を行い、各事業所へ情報提供し、受験者増加を目指す。
				目標達成度	必要性	目標数値	実績数値	実績数値	目標数値					実績数値	目標数値	実績数値		
福利厚生事業	小規模事業者の健全な経営、雇用を図るため、各種共済制度を普及し、福利厚生の充実を図る。	あおぞら共済加入促進キャンペーン春・秋に実施 共済新規加入者数：161人	中小・小規模事業者	指標 あおぞら共済新規加入者数 (達成度 107.3%)			指標 (達成度 %)			春と秋のあおぞら共済加入促進キャンペーンを通じて、従業員の福利厚生制度の提案ができ、共済新規加入161人に繋がる事ができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 現状維持	より多くの事業所へあおぞら共済の加入をすすめる。
				目標達成度	必要性	目標数値	実績数値	実績数値	目標数値					実績数値	目標数値	実績数値		
調査・広報事業	内部環境・外部環境の様々な変化が経営に及ぼす影響は大きく、規模の大小を問わず事業者は常にその動向を探り、適応していかなくてはならない。取りまとめた地域の動向・情報を円滑に提供することにより、経営に資していただく。広報では、会報誌『カイギョゲッポウ』、メールマガジン等を通じて各種情報の発信を行うことで、事業者の経営の方向性を決定する一助を担う。	◆景気動向実態調査先80事業所に、4半期に一度実施。 ◆ホームページ年間アクセス数86,662件	中小・小規模事業者	指標 景気動向実態調査調査先事業所数 (達成度 100.0%)			指標 ホームページ年間アクセス件数 (達成度 115.5%)			景気動向実態調査を調査先80件に4回行い、取り纏めた情報を次調査時に提供できた。ホームページに関しては、ゲッポウとの連動により、施策や事業を広報することで、市内事業者が情報収集することができ、経営の一助となった。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 両方現状維持	本年同様に広報強化を行い、各事業所への施策普及や、セミナー案内等を行い、小規模事業者の経済的発展の支えに寄与する。
				目標達成度	必要性	目標数値	実績数値	実績数値	目標数値					実績数値	目標数値	実績数値		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。